

「21世紀型コミュニケーション力の育成」研修モジュール

C-4: イメージマップ

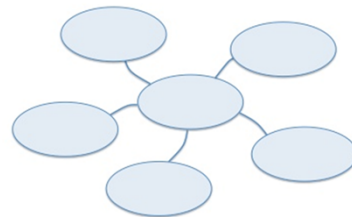
一般財団法人 コンピュータ教育推進センター

Copyright © 2013 Center for Educational Computing all rights reserved.

これよりイメージマップのワークショップをはじめます。
この時間を担当します〇〇です。よろしくお願いします。
イメージマップは小学校の国語やその他の教科でも扱われている思考法の1つです。
これからの少しの時間、実際にマップを作りながらそのコツを学んでいきましょう。

イメージマップとは・・・

1つの中心となるテーマをもとに、自分の頭の中に思い描いていることや思いつきなど、思考を放射状に広げていく方法の1つ。



C-3 イメージマップ

さて、改めて。

みなさんは、イメージマップという言葉聞いたことがありますか？マインドマップやコンセプトマップなど、マップという言葉がつく思考方法はいろいろとありますが、今日はイメージマップについて研修してみましょう。

イメージマップは言葉で発想を広げていく思考法のことです。特別なスキルは必要ありません。A4サイズの紙とペンがあれば誰でもできます。

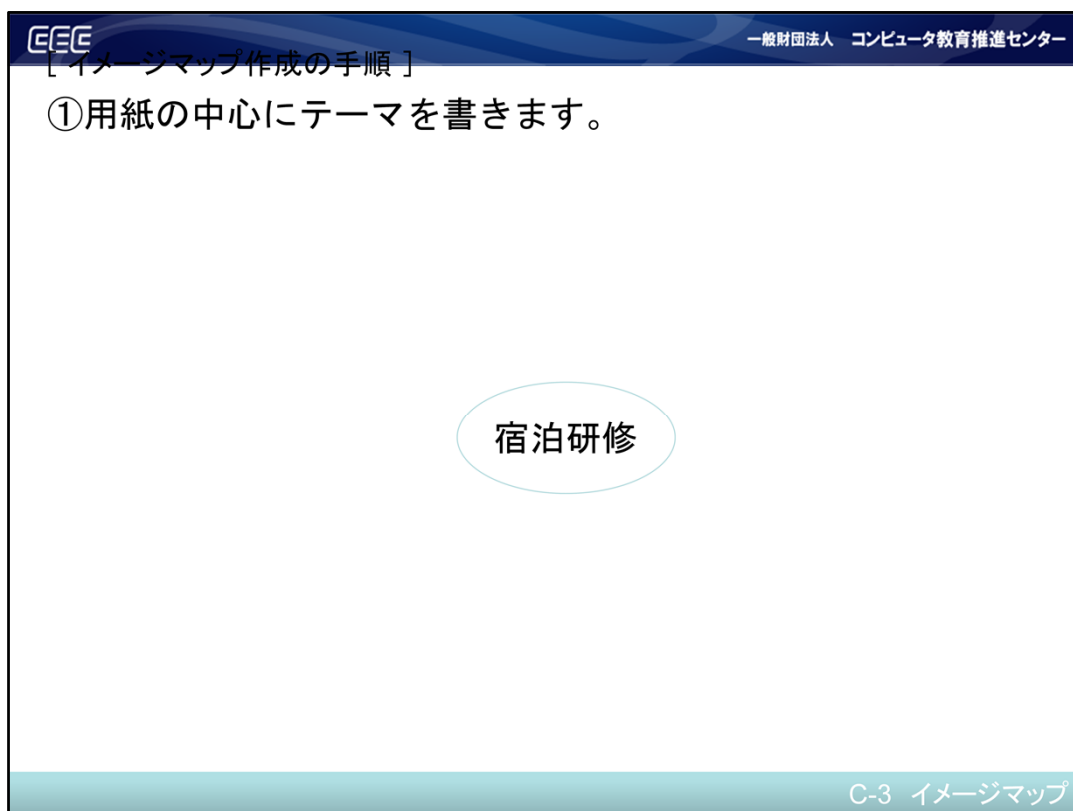
このイメージマップの手法を使うと、作文の時に書く話題を見つけたり、歴史上の人物について、関連を1つのマップにまとめるなど、使い方次第ではいろんな活用ができます。

ねらい

イメージマップ作成の基本
を理解する。

C-3 イメージマップ

そこで、今日はつぎのようなねらいをもちながら研修を進めていきましょう。
今日のねらいは、「イメージマップ作成の基本を理解する」です。
理解するということは、このあと、イメージマップって何？と聞かれたとき、それはさあ、
こういうことだよと自分の言葉で伝えられるということです。
先生方が理解し、子どもたちにそれを伝えていただくためにも、このねらいを達成できる
ようにがんばりましょう。



では、まずは作成の手順を説明します。

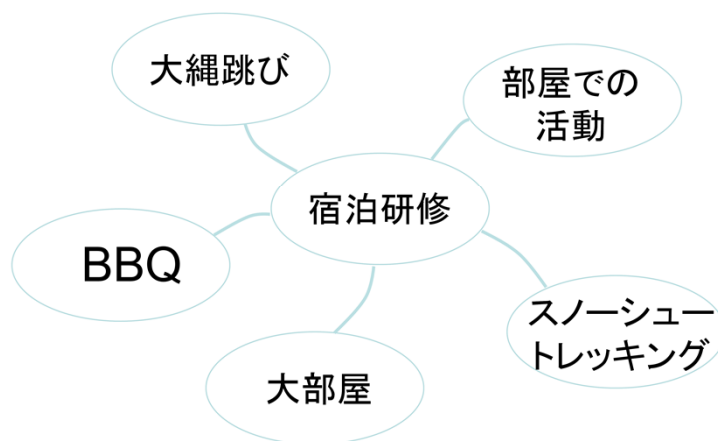
用紙を横長において、用紙の中心あたりにテーマを書きます。

文字だけでも良いですし、ご覧の通り、丸で囲う形でもかまいません。

今回は宿泊研修の振り返り作文の話題探しの場面ということで研修を進めていきます。

[イメージマップ作成の手順]

②テーマに関連するキーワードを書き、線でつなぎます。

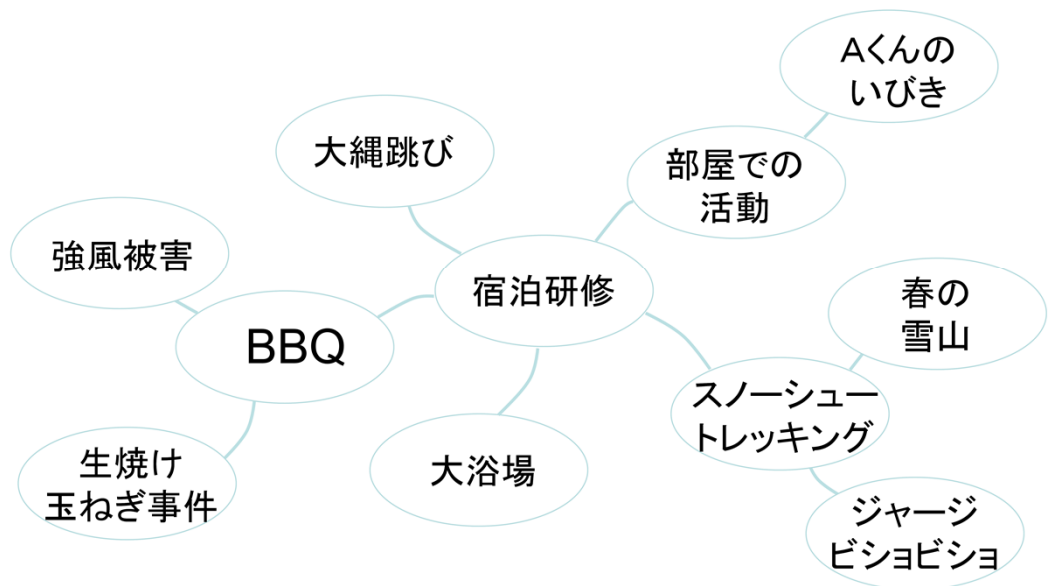


C-3 イメージマップ

次に、テーマに関するキーワードをまわりに書き出します。
今回の宿泊研修の場合、活動場面の大きな区切りで書き出します。

[イメージマップ作成の手順]

③広げたキーワードについて、より細かく広げます。



C-3 イメージマップ

まわりに広げたキーワードについて、今度はより細かな話題を書き出します。
BBQの時には突風が吹いてお皿がひっくり返ったり、火が消えたりと大変だったこと。
部屋での活動ではなんといってもAくんのいびき事件。みんなが眠れなくてとても困ったことなど。
中心テーマから周りに広がるほど、より細かい内容が書き加えられていくといった具合です。

イメージマップ作成のコツ



1 スピード命



2 配置二の次



3 否定しない

C-3 イメージマップ

ここでイメージマップ作成のコツです。

イメージマップは発想を広げる方法の1つです。みなさんの頭の中にはテーマをきっかけにいろんな言葉が泡のように生まれては瞬く間に消えていきます。

消えるまでに文字に表しておくためにも、スピードが何よりも大切です。

そして、周りにキーワードを散りばめる時、配置も閃きでパパッと書きましょう。ここに書いたらどうかなあなんて考えている間に、みなさんのステキな発想が消えてしまいます。位置など考えず、どんどん広げていくことが大切です。

そして、もう1つ大切なこと。こんなこと書いたら笑われるかなあ、こんなことは無理だよなあというふうに、考えを自ら否定してはいけません。

みなさんのイメージマップは今しか作れない唯一無二のマップです。書く時には、気持ちの壁を取っ払って、思いっきり発想を広げてみましょう。

練習してみましょう

思い出深い
旅行

C-3 イメージマップ

と、以上でイメージマップの基礎は終わりです。

でも、頭で分かったようでも、実際に書いてみると、時間配分や書きにくさなど、体験してこそ分かることがあります。

まずは、思い出深い旅行というテーマで書いてみましょう。

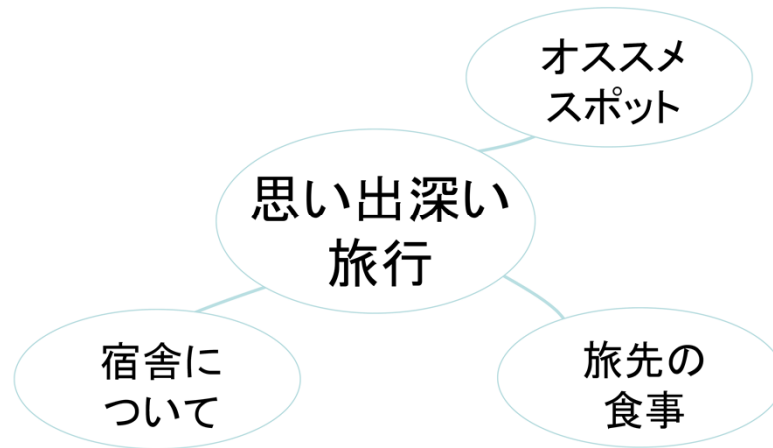
(ワークシートを配布する)

センターの枠に思い出深い旅行と書いてください。

さて、ではこれから5分間時間を取ります。

さきほどのコツを使いながら、発想の枝葉を広げてください。

交流してみましょう



C-3 イメージマップ

(5分後)

はい、時間になりました。

みなさん、どうでしたか？

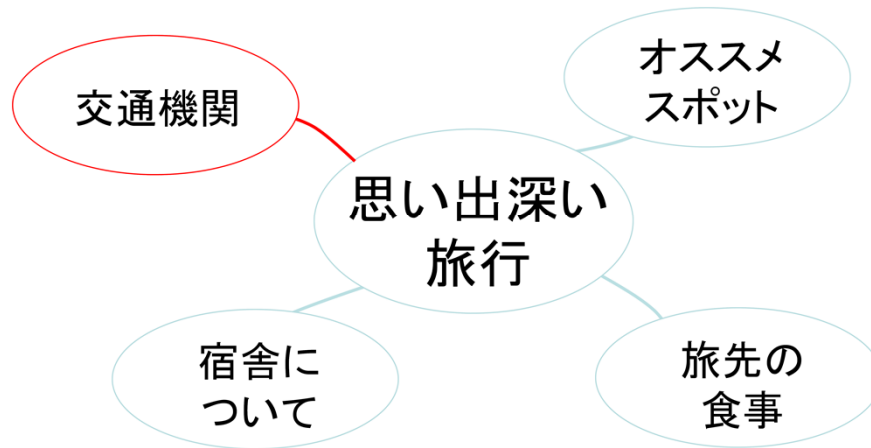
初めてこのようなマップに取り組まれた方にとっては、明日は脳みそが筋肉痛になるかもしれませんね。

では、同じグループの人(グループがない場合は近くの人と)とマップを交換してみましょう。

ここで大切なのは、「この枝ののばし方はいただき」というものを見つけるということです。

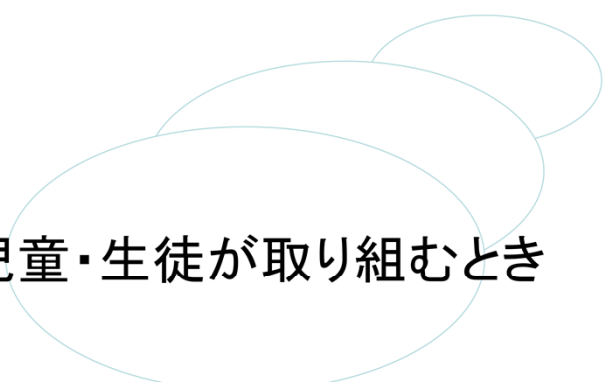
中心テーマから横に伸びているそれぞれの枝ですが、人のマップからテーマを深く掘り下げる、いわば考えるものさしをもらう大切な時間です。

新しいものさしで追加してみましょう



C-3 イメージマップ

たとえば、画面のように、旅行と言えば移動手段は大切ですね。
他者とのマップの交流を通して、交通機関の視点で旅行を考えてみるできるようになりました。
いただいたものさしを使って、枝を伸ばしてみましょう。
3分程度時間を取ります。では、はじめてください。



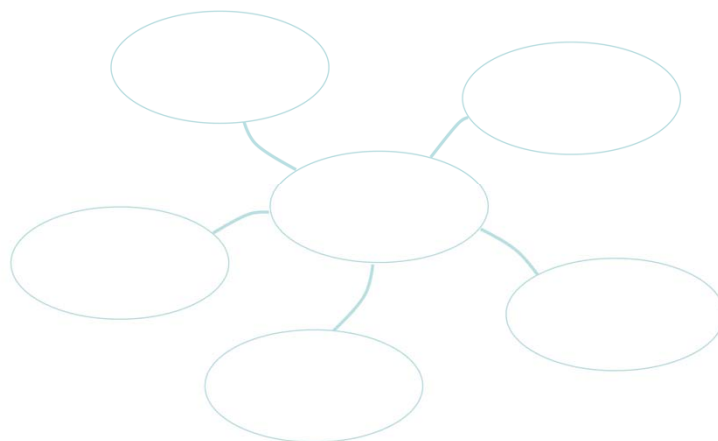
児童・生徒が取り組むとき

C-3 イメージマップ

先生方はさすがにご経験もいろいろあるので、スムーズにマップができていきました。では、これを子どもたちが取り組む場合、どんなことに気を付けたら良いでしょうか。まず第1に子どもたちが取り組む場合、フリースペースに描くのは難しい場合もあります。そこで、次のような方法をとることも考えられます。

[児童用 その1]

○枠をあらかじめ描いておくパターン

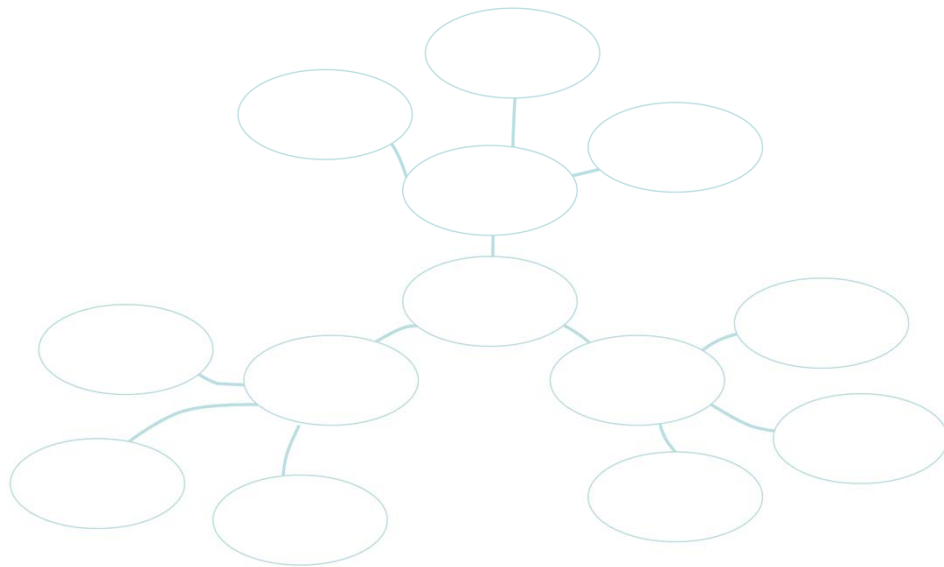


C-3 イメージマップ

中心テーマとその周りの第一段階の枠までを描いておきます。
スライドは5つの枠がまわりにありますが、子どもたちの状況に応じて数を減らして取り
組ませても良いでしょう。

[児童用 その2]

○枠をあらかじめ描いておくパターン

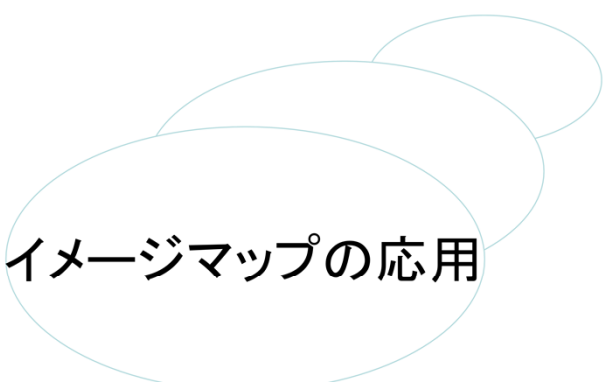


C-3 イメージマップ

その2の場合は、テーマから2段階広げた枠まで描いてあります。
第1段階は大きなくりで、第2段階はそのくりをより細かくしていくことで、イメージが広がります。



夏をテーマに広げた例です。
子どもたちにもこのような例を示しながら、完成イメージを持たせることも必要です。

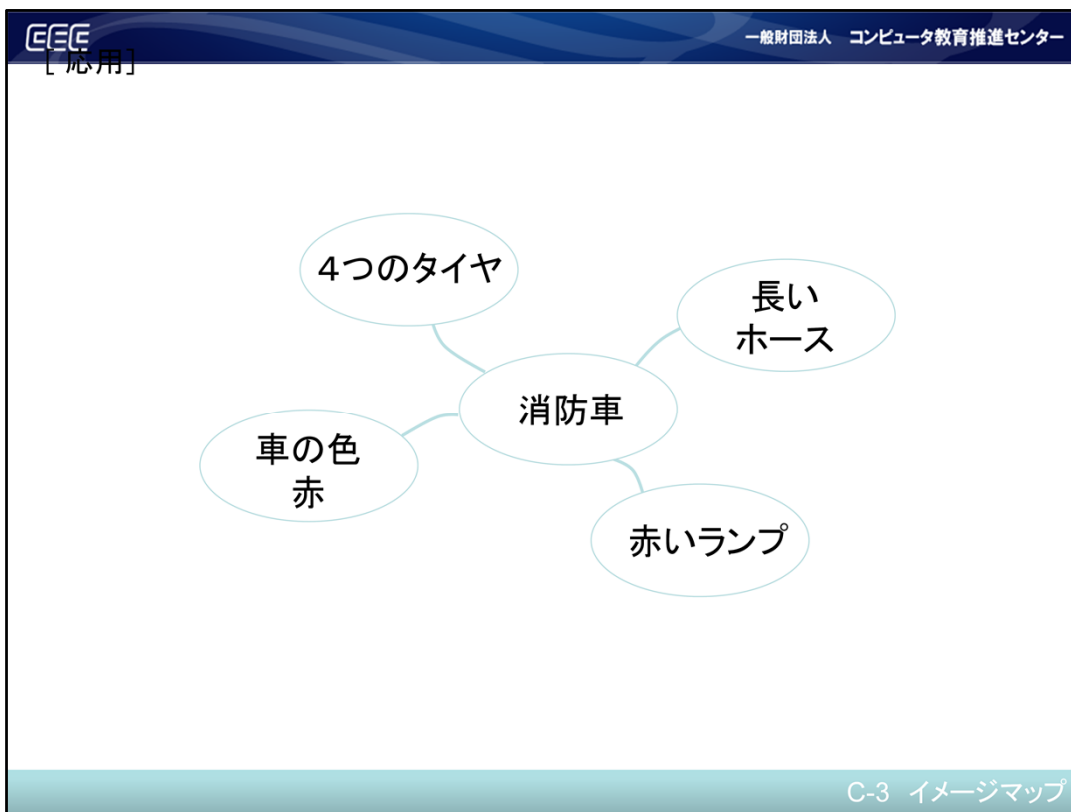


イメージマップの応用

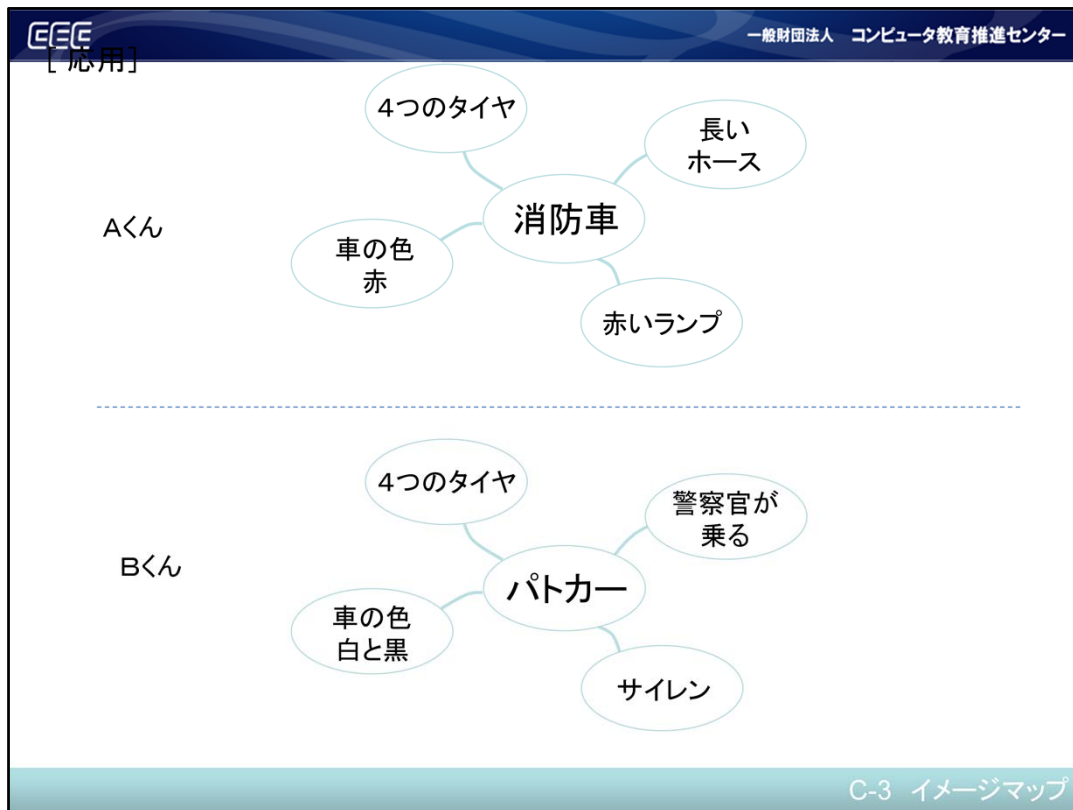
C-3 イメージマップ

次に、イメージマップの応用です。

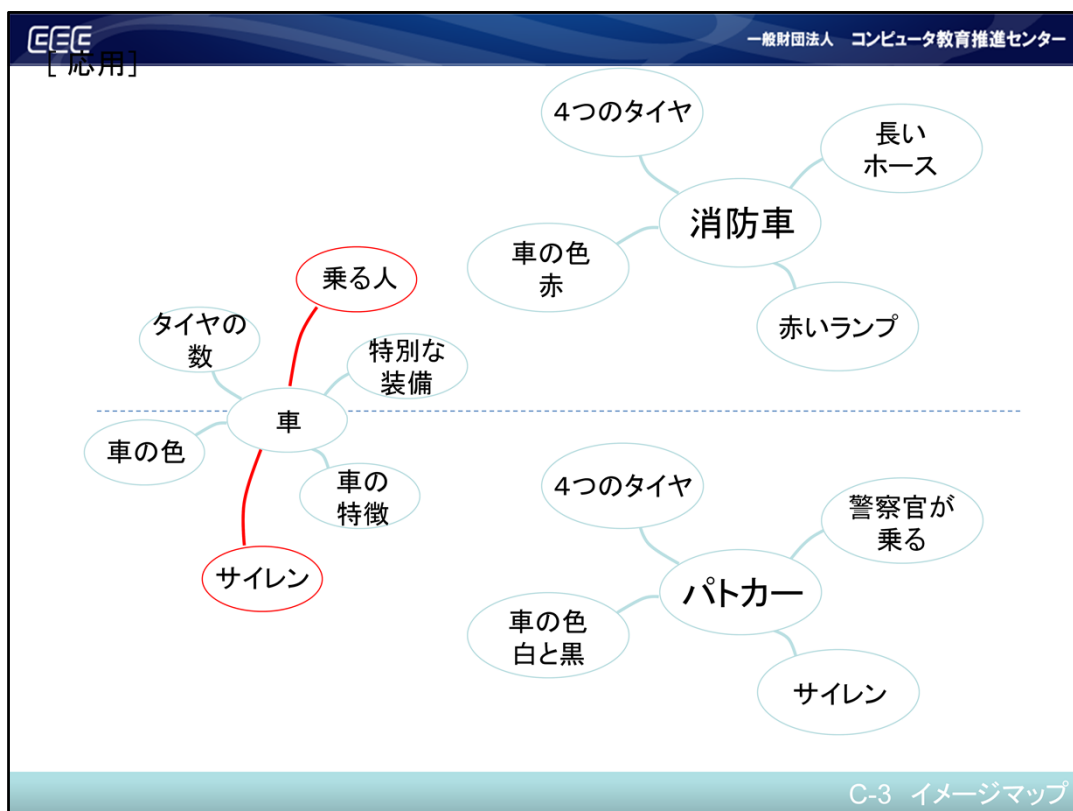
イメージマップは個人で作るのですが、それを共有することで、子どもたちの発想を一気に広げるきっかけが作れます。



たとえば、Aくんは消防車についてタイヤの数や車の色など、イメージマップを作りました。



Bくんはスライドのようにパトカーについて同様にイメージマップを作りました。
2つのイメージマップを比べてみると、いくつかイメージを広げる観点が違うことが分かります。



お互いにイメージマップを見せ合い、共有することで、新しい観点を得ることができます。新しく得た観点をイメージマップをさらに広げることで、より中身のあるイメージマップを一人一人が作り上げることができます。みなさんが今日のワークショップで作ったマップも交流してバージョンアップしましたね。それと同じことです。同じ空間で学習している者同士、みんなで賢くなるきっかけがこの応用編にあります。

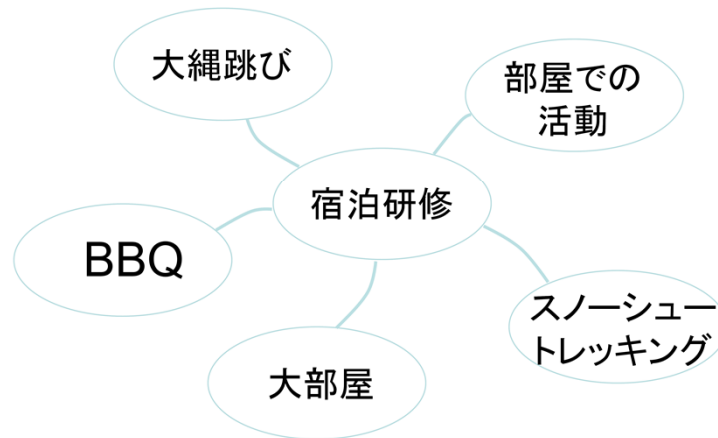


まとめ

それでは、まとめです。

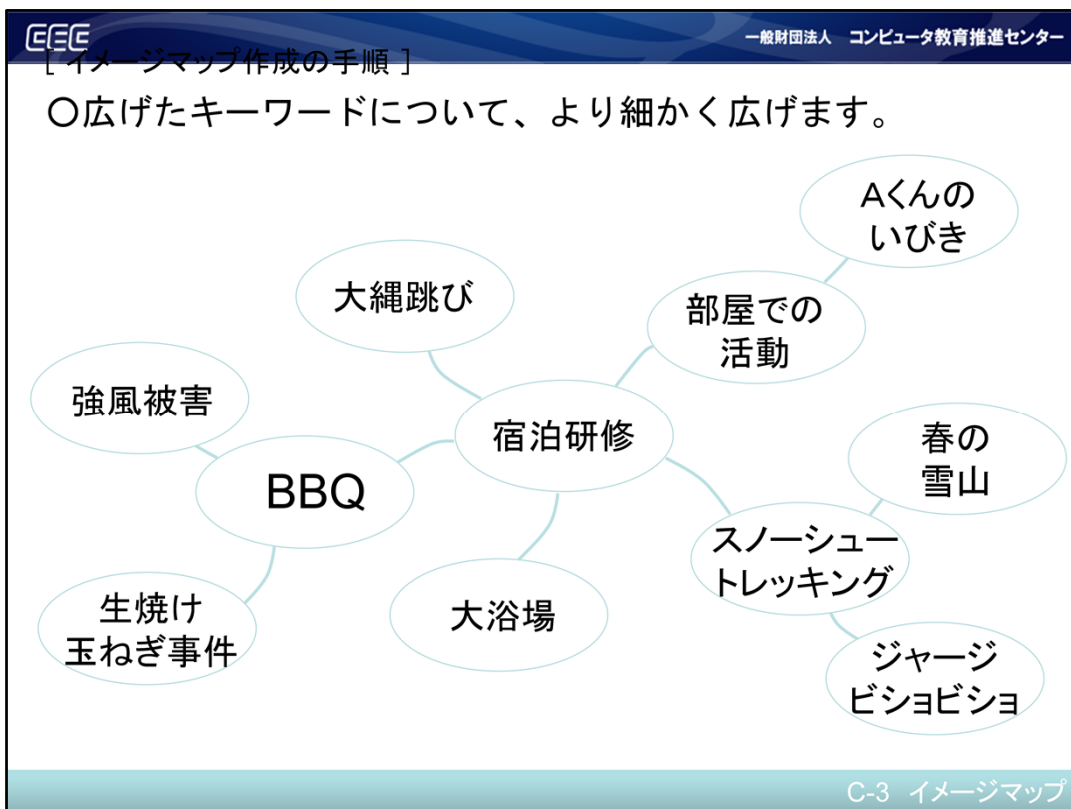
[イメージマップ作成の手順]

○テーマに関連するキーワードを書き、線でつなぎます。



C-3 イメージマップ

イメージマップは中心にテーマとなるキーワードを書きましたよね。
その周りにテーマに関連するキーワードを散りばめて、線で結びました。
この時のポイントは大きな観点で第1段階を作るということです。



次に、散りばめたキーワードに関する細かな情報を第2段階として枝を広げるように周りに描いていきます。

さらに第3段階と深めることも一部ではできるかもしれません。

イメージマップ作成のコツ



1 スピード命



2 配置二の次



3 否定しない

C-3 イメージマップ

そして最後にコツの確認です。

思いついたらすぐに書く。

そして、位置に迷わず書く。

また、その考えは自分で否定しちゃいけません。

ブレインストーミングと同じで、アイデアを広げたり、知識を広げるためには、自分で発想のブロックをしてはいけませんよね。

とてももったいないことです。

経験を積むことでマップを描く力は上達します。いろんな場面で頭の中をのぞくようにマップを書いてみてください。

それでは、以上でイメージマップのワークショップをおわります。

ありがとうございました。